

第3・4学年国語科学習指導案

第3学年

1. 単元名 場面の様子をそうぞうしながら読もう

教材名 「ちいちゃんのかげおくり」

2. 単元について

(1) 児童について

3年生の児童2人は国語の学習を好み、読書をしたり動作化したりする活動も意欲的に取り組んでいる。しかし、視写等の作業に時間を要することから、読み取りの時間が十分に取れないことが少なくなかった。

1学期に学習した物語文「三年とうげ」では、2人とも「三年とうげ」の美しい様子、おじいさんが病気になった様子や元気になった様子を表す部分に気付き、サイドラインを引くことができていた。しかし、登場人物の様子から心情を想像したり、書き込みをしたりする段階までには至っていない。そこで、この「ちいちゃんのかげおくり」を学習することによって、叙述から登場人物の様子や心情を想像して読み取ったり、考えたりする力をつけていきたい。

(2) 教材について

第3・4学年の「C読むこと」における目標は、「目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて、本単元では「『場面』についてよりよく理解し、情景や登場人物の様子について叙述に基づいて想像して読み取る。」を主目標とする。

本教材は、空襲で一人の小さな女の子が家族と離れ離れになり、家族を想いながら、ついにはその命を失ってしまうという物語である。家族そろってするかげおくりの描写から父や母、ちいちゃんや兄の心情を想像したり、空襲で母や兄とはぐれて一人きりになったときのちいちゃんの様子を想像したりすることにより、作品に引き込まれることと思う。また、本教材の主人公「ちいちゃん」は幼い女の子であり、父や母、兄との関わりを中心に書かれていることから、この時期の児童にとって感情移入しやすい作品であると考えられる。

(3) 指導にあたって

本教材を指導するにあたっては、まず教科書冒頭の詩「あおぞら」を読むことで、この学習の導入につなげたい。青く澄んで広がる空を想像した詩を味わった後に、本教材「ちいちゃんのかげおくり」を読み進めていく。戦争でちいちゃんが見た空と、「それから何十年」後の青い空との違いをはっきりと読み取ることができるように考える。

本教材は5つの場面で構成されている。第1場面から第4場面までは戦争中の話である。児童の実態から、第4場面を「ちいちゃんが目を覚ました」場面と「ちいちゃんが空色の花畑の中に立っていた」場面の二つに分け、確かな読み取りができるようにと指導計画を立てた。

文中に出てくる「焼夷弾」や「空襲警報」、「雑のう」、「干し飯」等の語句は児童にとって身近なものではない。戦時中の場面の様子や情景をより理解させるために、それらの語句について、具体物や写真等で調べさせていきたい。また、登場人物の様子については、会話や動作を表す語句に着目させて読み取らせていきたい。読み取ったことをもとにして役割読みをさせたり、効果音を使用しながら動作化させたりして音読に生かすようにしたい。

(4) 仮説にかかわって

重要語句を明らかにし、確かに読み取るための発問、指導の手立て。

- ・ 本教材を読み取る上で重要な戦時中特有の語句(「焼夷弾」「空襲警報」「雑のう」「干飯」等)について、具体物や資料集等で調べたり、調べたものを教室に掲示したりして戦時中の情景等を想像しやすいようにする。
- ・ 場面の様子、登場人物の様子や気持ちを確かに読み取るために、「ちいちゃんのかげおくり」の本の挿絵や教科書の挿絵を用いながら発問を行う。

重要語句に着目した読み取る力を身につけられるような支援。

- ・ 重要語句に着目させるようなヒントカードを用意し、間接指導時でも自分の力で学習を進められるようにする。
- ・ 間接指導時でも児童が主体的に学習を進められるよう学習シートの工夫をする。
- ・ 上記のような配慮をしてもつまずいた場合には、2人で相談したり協力したりして学習を進めるように学習形態を工夫する。

3. 指導目標

関心・意欲・態度

- ・ 言葉や表現に即して、場面の様子やその移り変わりを想像しようとしている。

読む力

- ・ 会話や動作を表す言葉をもとにして、情景を想像しながら読むことができる。

言語の力

- ・ 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、語句の性質を理解することができる。

4. 指導計画(11時間扱い、本時8時間目)

	主な学習活動	評価規準	具体の評価規準		努力を要する子への支援
			A	B	C
第一次 つかむ (4)	1 教科書冒頭の詩「あおぞら」を読み、「ちいちゃんのかげおくり」のキーワードである「空」に関心を持つ。その後「ちいちゃんのかげおくり」を通読し、あらすじをつかむ。	(読)いつ、だれが、どうなった話かをつかむことができる。	戦時中、「かげおくり」が好きなちいちゃんは空襲に遭い一人ぼっちになってしまう。母と兄に必ず会えることを信じて、一人きりでかげおくりをしながら死んでしまった話であることをまとめることができる。	戦時中、「かげおくり」が好きなちいちゃんは空襲に遭い一人ぼっちになってしまう。一人きりでかげおくりをしながら死んでしまった話であることをまとめることができる。	あらすじをつかめない場合は、教科書の挿絵をもとに気づかせていく。
	2 初めの感想を書き、感じたことを話し合う。	(読)心に残った場面や文、言葉を選び、それらから感じたことをまとめることができる。	心に残った場面や文、言葉を選び、それらから感じたことや考えたこと、疑問等をノートにまとめることができる。	心に残った場面や文、言葉を選び、それらから感じたことをノートにまとめることができる。	感想をもてない場合には、挿絵をもとに自分が一番心に残った場面や文、言葉を考えさせる。
	3 難語句を調べる。	(言)難語句を調	難語句の意味を調	難語句の意味を調べ、	

		べ,意味を理解することができる。	べ,使い方を理解して短文を作ることができる。	使い方を理解することができる。	
	4 場面分けをし,学習課題について話し合う。	(読)5つの場面に分け,場面ごとの学習課題を作ることができる。	誰が何をした場面かをつかみ,場面ごとの学習課題を作ることができる。	誰が何をした場面かをつかみ,初めの感想から学習課題を考えることができる。	場面の内容が理解できていない場合には,挿絵をもとに誰が,何をした場面かを考えさせる。
第二 次 ま な ぶ (5)	5 かげおくりをしている家族の様子を読み取る。	(読)かげおくりをしている家族の様子を,四人の会話や情景描写をもとに想像して読み取ることができる。	出征する前日,父がいなくなることを考えて,家族そろって墓参りに行き,家族4人がなかよく手をつないでやった「かげおくり」が家族の記念写真であることを読み取ることができる。	出征する前日,父がいなくなることを考えて,家族4人がなかよく手をつないでやった「かげおくり」が家族の記念写真であることを読み取ることができる。	家族の様子がイメージできない場合には,「出征」という語句の意味を確かめたり,挿絵での家族4人の「かげおくり」の様子に着目させたりして考えさせる。
	6 空襲から逃げるちいちゃん達の様子を読み取る。	(読)空襲から逃げるちいちゃん達の様子を,会話や情景描写をもとに想像して読み取ることができる。	火があちこちに上がり,炎のうずが追いかける中で,ちいちゃんと兄を必死に守りながら逃げる母,一生懸命に逃げるちいちゃんと兄,しかしながら,母・兄とはぐれてしまい,一人ぼっちになってしまったちいちゃんの様子を読み取ることができる。	火があちこちに上がり,炎のうずが追いかける中で必死に逃げまどうちいちゃん達,しかしながら,母・兄とはぐれてしまい,一人ぼっちになってしまったちいちゃんの様子を読み取ることができる。	空襲から逃げまどうちいちゃん達の様子イメージできない場合には,空襲の効果音を聞かせたり,挿絵をもとにしたりして想像させる。
	7 母と兄を待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み取る。	(読)母と兄を待ち続けるちいちゃんの気持ちを,ちいちゃんの会話や情景描写をもとに想像して読み取ることができる。	母と兄はきっと帰ってくることを信じて,こわれかけた防空壕の中で干し飯を少しずつ食べながらひたすら待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。	母と兄はきっと帰ってくることを信じて,ひたすら待ち続けるちいちゃんの気持ちを読み取ることができる。	ちいちゃんの気持ちについて考えられない場合には,文中の「おかあちゃんとおにいちゃんは,きっとかえってくるよ。」に着目させ考えさせる。

	8 ちいちゃんが目覚めてから、一人きりでするかげおくりの様子を読み取る。 (本時)	(読)ちいちゃんが目覚めてから、一人きりでするかげおくりの様子を読み取ることができる。	父の声や母の声が空から降ってきたこと、ちいちゃんが最後の力を振り絞り、一人きりでやったかげおくりだったが、四つの白いかげが見え空に吸い込まれた様子を読み取ることができる。	父の声や母の声が空から降ってきて、最後の力を振り絞って一人きりでかげおくりをしている様子を読み取ることができる。	第一場面の家族でするかげおくりの様子と第四場面でするかげおくりの種類の違いに着目させ考えさせる。
	9 空色の花畑にいるちいちゃんの様子を読み取る。	(読)空色の花畑にいるちいちゃんの様子を読み取ることができる。	空色の花畑の中で家族と出会い喜んでいるちいちゃんの様子や「小さな女の子の命が、空に消えました。」の文からちいちゃんが命を奪われたことを読み取ることができる。	空色の花畑の中で家族と出会い喜んでいるちいちゃんの様子、ちいちゃんが命を失ったことを読み取ることができる。	教科書の挿絵から家族と出会ったちいちゃんの様子が分かる部分に着目させ考えさせる。
	10 第一場面から第四場面までと第五場面とを比べながら読み、平和な暮らしの様子を読み取る。	(読)平和な暮らしの様子を読み取ることができる。	ちいちゃんの命が消えた場所は公園になり、青い空の下で、その場所では戦争などなかったかのように、子ども達がきらきら笑い声を上げながら遊んでいる平和な様子を読み取ることができる。	家がたくさん建ち、青い空の下で、子ども達がきらきら笑い声を上げながら遊んでいる平和な様子を読み取ることができる。	平和な様子を読み取れない場合は、絵本の挿絵をもとにして考えさせる。
第三次 いかす (2)	11 いちばん心に残った場面を選び、音読で伝える。	(読)自分がいちばん心を打たれた場面の様子を聞き手を意識して声に出して読むことができる。	自分がいちばん心を打たれた場面の様子を、選んで理由や工夫するところも考えて、聞き手を意識して声に出して読むことができる。	自分がいちばん心を打たれた場面の様子を、選んで、聞き手を意識して声に出して読むことができる。	場面が選べない場合には、いちばん心に残った文や言葉を選ばせてから場面選びにつなげる。

5 . 本時の展開

(1) 目 標

ちいちゃんが目覚めてから，一人きりであるかげおくりの様子を読み取ることができる。

(2) 評価規準

第一場面の家族であるかげおくりの様子と第四場面の一人であるかげおくりの種類の違いを進んで読み取ろうとしている。 (関心・意欲・態度)

ちいちゃんが一人きりであるかげおくりの様子を読み取ることができる。(読む力)

(3) 仮説に関わって

重要語句を明らかにし，確かに読み取るための発問，指導の手立て。

- ・ 「青い空から，お父さんの声がふってきました。」「お母さんの声も，青い空からふってきました。」「たった一つのかげぼうし」の語句を取り上げ，それらの語句からどんな様子分かるかを発問し，ちいちゃんの気持ちを読み深める。

重要語句に着目した読み取る力を身につけられるような支援。

- ・ 家族であるかげおくりの様子と一人きりでかげおくりをしている種類の違いに気づかせるためのヒントカードを用意し，間接指導時でも自分の力で学習を進められるようにする。
- ・ 上記のような配慮をしてもつまずいた場合には，2人で相談したり協力したりして学習が進められるように学習形態を工夫する。

(4) 展 開

3 年 生				形態 (時間)	
留意点	支援	評価	重要語句	学習活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・ちいちゃんが、干し飯しか食べていないことやこわれかかった防空壕の中で眠ったことを想起させる。 				1 前時の想起をする。 2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ちいちゃんが、かげおくりをしたのはどうしてだろう。</div>	つかむ 5分
<ul style="list-style-type: none"> ・個別に音読させる。 ・第一場面の家族でやったかげおくりの様子を想起させてから、ラインを引かせる。 お父さんの声が、青い空からふってきました。 お母さんの声も、青い空からふってきました。 たった一つのかげぼうしを見つめながら ・サイドラインが引けない児童のために、第一場面の家族であるかげおくりの様子と第四場面であるかげおくりの様子の違いに着目させるヒントカードを用意する。 ・サイドラインを引いた重要語句を根拠として発表させる。 ・「くっきりと白いかげが四つ」という語句を取り上げ、ちいちゃんが白いかげが四つ見えたときの気持ちを読み深めたい。 ちいちゃんの気持ちについて自分でまとめているか。(シート) 				3 学習内容を読み取る。 本時学習場面を音読する。 第一場面の家族みんなでのかげおくりの様子と第四場面でのかげおくりの様子で違うところにサイドラインを引き、シートに書く。 サイドラインを引いた語句をシートに視写し、それを聞いたちいちゃんの気持ちを書く。 ちいちゃんの気持ちについて話し合う。 なぜ白いかげが四つ見えたのか、ちいちゃんの気持ちを想像する。 話し合ったことをもとに、課題に対するまとめを自分なりに考えて書き、発表し合う。	まなぶ 30分
<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちが分かるように音読しているか。(音読) ・4年生と学習の感想を交流する。 				4 本時の学習をまとめる。 まとめを発表し合い、友達の良いところを取り入れてまとめていく。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お父さん、お母さんの声が聞こえたちいちゃんは、家族に会いたい気持ちで一人きりでかげおくりをやった。</div> 登場人物の様子を想像して音読する。	いかす 10分
5 今日学習の感想を書き、次時の学習内容を確認する。					

(5) 具体の評価規準と努力を要する子への支援

	関心・意欲・態度	読む力
--	----------	-----

十分満足な子	ちいちゃんの様子や心情の変化に興味を持ち、語句に着目して進んで読もうとしている。	父の声や母の声が空から降ってきたこと、ちいちゃんが最後の力を振り絞り、一人きりでやったかげおくりだったが、四つの白いかげが見え空に吸い込まれた様子を読み取ることができる。
概ね満足な子	ちいちゃんの様子の変化に興味を持ち、語句に着目して読もうとしている。	父の声や母の声が空から降ってきて、一人きりでかげおくりをしている様子を読み取ることができる。
努力を要する子への支援	挿絵と比べながら、ちいちゃんの様子の変化に興味を持たせる。	第一場面の家族であるかげおくりの様子と第四場面であるかげおくりの様子の違いに着目させ考えさせる。

(6) 板書計画

